

三商同窓会報

ホームページアドレス

<http://tcsaa.jp/>



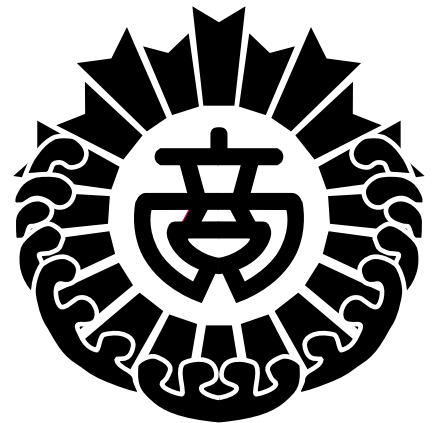
No.63

令和7年8月1日発行



令和7年度新年会 於 門前仲町東天紅

校 歌



作詞 前田 夕暮
作曲 山田 耕筰
編曲 脇 則之

都の空は明けたり、今
希望は燃ゆる若きわれら
都立第三商業、ここに拠るや
日本の富を担ふわれら

富岳の雪を望む窓辺
理想は高し、若きわれら
都立第三商業、ここに居るや
都の栄えを築くわれら

東都の海の門にありて
心は濶し、若きわれら
都立第三商業、ここに立つや
江戸の誇りを継げるわれら

応 援 歌

作詞 多田 宏
作曲 池内 友次郎
編曲 青山 政憲

見よ、三商の旗じろし
T・C・Sの行くところ
旭日洗ふ波がしら
ここに刻む若人の
勝算すでに吾にあり
頑張れ三商、頑張れ三商

聞け、三商の底ぢから
T・C・Sのはた風は
歴史が語るその誉れ
受け継ぎ来たる若人の
命の誇り吾にあり
頑張れ三商、頑張れ三商

見よ、三商の鉄の陣
T・C・Sの旗の下
正義に結ぶ和のこころ
明るく強き若人の
凱歌はすでに吾にあり
頑張れ三商、頑張れ三商

(フレー・フレー・三商
フレッ・フレッ・三商
フレッ・フレッ・三商)



三商同窓会報 第63号 CONTENTS

校歌・応援歌	豊田紀雄氏 作品	1 2	
目次	北島朝子氏 作品	1 3	
—ごあいさつ—	水上健二氏 作品	1 5	
同窓会会長	三希会開催の様子	1 6	
都立三商学校長	—同期会活動報告—		
(公財)東京三商会理事長	今年も再開三十期同期会「三八会」	藤倉 久雄	1 9
—第22期特集—	第31期3年2組クラス会報告	西邨 昭一	1 9
D・Jトランプ大統領との出会い	第26期同期会を楽しんで	水上健 二	2 0
三商の思い出	—次号のお知らせ—		2 2
ゴルフ三商30会	—同窓会より—		
都立三商22期卒自営組	令和6年度活動記録		2 3
—寄稿・エッセイ—	令和6年度会計報告		2 4
小さなドライブ紀行③	令和7年度事業計画案		2 5
水戸の弘道館・偕楽園	令和7年度収支予算		2 6
我が街 船橋を歩く	—広告のページ—		2 7
—三商同窓生街歩きご案内—			
第3回 三希展 開催報告			
三浦 康二	1		
智片 将也	1		
杉本 光男	1		
鈴木 藤雄	2		
屋代 英雄	6		
今村 輝男	6		
篠崎 清	6		
江角 喜一	8		
仲田 元昭	9		
	11		
水上 健二	11		

ごあいさつ

三商創立100周年を目指して



同窓会会長
第31期 三浦 康二

本年は私達の母校都立三商は1923年の3月に創立してより満97年となります。私達同窓生も卒業して以来希望を燃やし、理想を高くかかげ、心はひろく人生を歩んでまいりました。母校の創立100周年を間近にして校歌にもあります伝統と誇りをもつて応援をしてまいりたいと思います。

伝統と誇りといえば富山県の黒部ダムが竣工してより今年で満63年となった。同ダムは戦後関西地域の電力需給の逼迫を受けて計画されたものであった。起工から完成まで7年、従事者は実に1000万人を数えた大変な難事業でありました。3000メートル級の山脈に挟まれた秘境であり、そこにいかにして膨大な建設機材を運び込むか、搬入路を造る最初からの困難の連続であったようです。長野県側から工事用トンネルを掘る工区では「黒部の太陽」にも描かれたように、大量の水が出る破砕帯に阻まれながらも執念で掘り進めた。富山県側の工区では迎え掘りで応戦、さらに数百人の協力者たちが資材を背負って断崖を進み、何台ものブルドーザーが雪山を超えて建設地の谷に向かった。ト

ンネルは予定から10ヶ月遅れて開通してようやく本格的なダムの本体工事が始まった。黒部ダム完成までにどれだけ多くの悪戦苦闘の歴史が刻まれていることか。いかなる油断もミスも許されぬ中で一人一人が主体的に関わる真剣さと団結がなければ到底成し得なかった事であると思います。ダム建設の中で不可能と思われる壁に挑む「何とかなる」から「必ず何とかする」への転換であり「建設は死闘」と偉大な事業を成就する力は何か。困難の壁に臆さぬ勇気と勝利への執念と、一人一人の団結のたまものではなかったでしょうか。

私達同窓会も三商創立100周年を目指し執念と団結で迎えてまいりたいと思います。

ご挨拶



都立第三商業
学校長 智片 将也

令和7年4月より、東京都立第三商業高等学校の校長を拝命いたしました智片将也（ちかたまさや）です。第三商業は、2027年に創立100周年を迎える伝統ある学校であり、このような歴史と誇りを持つ学び舎の校長を務めさせていただくことは、まことに光栄であり、責任の重さをひしひしと感じております。

本校の歩みは、同窓会および、公益財団法人として認可を受けた東京三商会の存在と、切っても切り離せない関係にあります。都立高校の中でも、これほどまでに同窓会からの手厚いご支援がある学校は稀であり、卒業生の皆さまが在校時に受けた数々の

教えを胸に刻み、母校を想い続けてくださっていることに、深く感銘を受けております。

先日行われた評議委員会では、私から着任のご挨拶を申し上げる機会をいただきました。委員の皆さまからは、学校への熱い思いや、校長としての私への励ましの言葉、そして100周年記念行事の実現に向けた期待が寄せられ、改めてその重責を受け止め、思いを新たにしたいところです。

生徒たちもまた、明るく、前向きで活気に満ちた生徒が多く、新たな三商の担い手として心強く感じております。先日は新入生歓迎会が行われ、各部活動の発表を通して、「自分を高めたい」「仲間と協力しながら成長したい」といった熱意が新入生にしっかりと伝えられ、学校全体に活気と希望が満ちておりました。

このように、在校生・同窓生それぞれの思いと情熱に触れながら、本校がこれまでの歴史を礎に、さらに高い次元へと歩みを進めていけるよう、私も誠心誠意、邁進してまいります。

今後とも、変わらぬご支援とご指導を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

ご挨拶

公益財団法人東京三商会 理事長

第26期 杉本 光男

日頃より当公益財団法人東京三商会の事業に、ご支援ご協力を賜りあつく御礼申し上げます。

さて当財団の近況ですが、皆様方のご支援のおかげで奨学金給付事業は順調に行われています。令和7年度の募集もいま行われている最中です。学費の無償化が進み応募状況が気になるところですが、多く

第22期特集

の学生に支給できるよう頑張っています。

また当財団では奨学金事業の他に、新しく海外研修に関わる費用を補助（奨励奨学事業）する事業を始めることが出来ました。昨年の会報（62号）に一部ではありますが掲載しましたが、山田和人前校長（財団理事）の頑張りでハードルの高かった事案をクリアし認可されました。早速今年の夏休みに10人の生徒がカナダへ海外研修に行くことが決まりました。短い期間ではありますが知識を広め良い経験をし、よい成果をあげて帰ってくることを期待しています。

これからも将来社会に貢献できる優秀な人材育成の支援事業を粛々と進めてまいりますので皆様方の一層のご協力、ご支援を賜りますようお願いいたします。

D・Jトランプ大統領との出合い

第22期 鈴木 藤雄

私は昭和11年4月12日、浅草観音様の裏、馬道2丁目で鈴木官三、マサの長男として生まれました。

私の名前は、浅草三社神社でつけてもらいました。私の子供3人は木場に住んでいましたので、深川富岡八幡宮でつけてもらいました。小学校は富士国民学校に入学、昭和18年です。日米戦争が緊迫してきて東京に居るといつ空襲に会うか危険なので、昭和20年12月に母の父が足利の毛野村の出身なので、その村役場を介して古家を見つけ、そこに疎開しました。小学校を卒業するまでいました。足利の毛野村に4年間住み、その間季節により、春は小川でどじょうを捕り、夏は池や渡良瀬川で泳ぎ、秋は山で栗拾い、冬は焚火でいもを焼き食べました。初夏は桑の実（地元ではどめと称していた）を食べ、楽しい日々を過ごしました。戦後はすぐ野球が始まり、ビート玉に布を巻き、ボールとして使いました。父親が昭和21年の夏に兵隊から帰還して、後楽園に都市対抗野球を見に行ったことは強く記憶に残っています。小学校卒業は毛野村でした。

中学校は江東区立深川二中に入学しました。すぐ野球部に入部して学校でも一般でも野球漬けでした。町場の少年野球チームで深川警察の大会で優勝したこともありました。中学3年の時、江東区の大会で優勝して、東京都の大会は1回戦で敗れました。当時は高校入試はアチーブメントと云う入試制度がありまして、普通高校、商業工業統一でした。自己申告で東京都立第三商業高校に進学の意志表示をし

ました。担任の先生は滑り止めに早実高校を受けたらどうかとのこと、都立三商合格に自信があったので早実には願書は出さずじまいでした。運良く、三商に合格したので内心ほっとしたことを憶えています。新たな気持ちで三商進学しました。当時は深川森下に住んでいたので、月島行の電車に乗り、越中島で下車をして学校までは徒歩で通いました。クラスは4組、担任は吉田先生でした。席は松井努君がうしろの席にいました。学校にドラムのバチを持参して休みの時間にはバチを机に向かってたたいていました。入学と同時に野球部に入部しました。私は外野を希望しましたが、何回か練習をするうち、内野が手薄で2年生が少なく、内野の三塁手にコンバートを申込み、三塁手の補欠に入りました。秋の新人戦から正三塁手になりました。ショートは2年でキャプテンの藤本秀朗さん（ユニデン創業者）でした。秋の新チームは我々1年生は投手・服部健三君、二塁手・蒲池宏君、3人がレギュラーでスタートしました。新人戦は2回戦で敗退でした。年明けの夏の大会で練習の成果が出せたのか、4回戦を勝ち、ベスト16位から、神宮球場での試合です。相手は優勝候補の1校で久我山高校でした。途中まで好ゲームで8回まで2点差で勝ちいましたが、9回裏に逆転サヨナラ負けでした。神宮球場参加に際して今村直人校長の訓示がありました。我野球部開部以来、初めての神宮大会を精一杯頑張るなさい、とのことでした。その時の校長の神宮（じんぐう）を「シングウ」と云っていたのが印象的でした。九州弁かな？

私は別な夏休みの計画と重複して日光金精峠から尾瀬へ縦走する予定があり、野球の試合の為、一日遅れで一人、渡良瀬鉄道で三平峠を越え尾瀬沼キャ

ンブ地で合流しました。メンバーのリーダーは人形町の才木君で、魚河岸問屋の林君、石原町の馬場君、私の4人です。一日は尾瀬沼で泳いだりして、のんびりしましたが夕方、大雨でテントの下が水びたしで往生しました。翌日は燧ヶ岳、標高2,300mの登山をしました。頂上には残雪がありました。尾瀬沼、尾瀬ヶ原が一望に見え、感動の景色でした。そして、三条の滝まで行きましたが、60mくらいの落差でしたが、水量の多さにびっくりました。

尾瀬ヶ原を縦走してそのまま鳩待峠を超え下山したのですが、数時間雷と雨で、大変な峠越えで生きた気持ちになかった記憶を鮮明に憶えています。沼田経由で帰京しました。3年の夏の大会は2回戦で敗れました。3年の秋は就職活動がメインで、2、3年の担任は宇梶公平先生で、就職は面接のみで条件として野球のできる人、こんなのあるけどどうかとのこと。会社は大協石油（現コスモ石油）八重洲のブリジストンビル内に本社がありました。三商から4名受け、1人は野球部の久保洋介君、彼と私は合格。もう1人も合格でした。久保君は途中で四日市の工場に転勤になり、そこで社内結婚して定年まで勤め、現在は鈴鹿市に在住です。

白洲次郎との出会い

就職も決まり、野球も卒業してのんびりしていましたが、銀座のジャズ喫茶テネシーに学校帰りに仲間と行く様になり、中2階の席に中年の上品な紳士が1人で来ていました。私はとっさに新聞で見かける白洲次郎さん（吉田茂首相の側近でGHQと交渉）と気がつきました。それから何日か後に喫茶テネシーに行ったら、又見えていたので隣席に座ったところ、白洲さんが声をかけてくれました。「学生さんかね。」私は「来年の3月から石油メーカーに勤

めます。」と答えました。彼は「石油産業は日本の復興に重要な仕事だから頑張りなさい」との事でした。今でも不思議に思います。白洲次郎さんは何故喫茶テネシーに来ていたのだろうか。



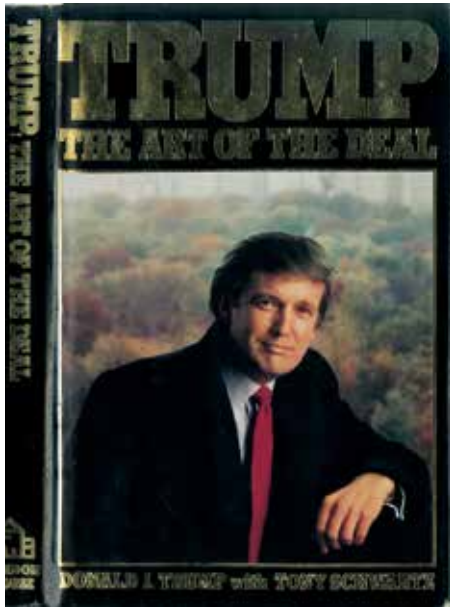
私は本社の営業部に配属になり、直売と称して自衛隊小野田セメント、等の補助みたいなので、しばらくは学生服で通いました。ボーナスが入ってから背広を買いました。初任給9,800円/月でした。投手の服部健三君は三井金属に決まり、月給12,000円でした。1、2年する内に仕事に慣れ、特に自衛隊のデリバリーは入札、契約、納入、納品、請求、集金をほぼ1人でこなし自衛隊の窓口は六本木の調達実施本部でした。商品は多岐にわたり、担当課から商品の詳細が発表になると、各メーカーの担当者と打ち合わせ会合（談合・国会で大問

題になりました）があり、（月変わりでメーカーの幹事交代）幹事会社に担当者が集まり、談合する訳ですが、航空自衛隊は第一航空団（浜松）、当初は浜松に油槽所を設置してジェット機用の燃料の供給基地としていました。主に日本石油と当社が落札していました。当社のシエラ（梓）は国の割当は5%位でした。航空燃料（ジェット燃料JP-4）は20%の割当てがありました。1回納入ロットは1億円前後ありました。当社の事務所が1フロアに全ての組織があつたので、営業部の隣に財務部があり、商品が納入されると納品書が営業部に送付され、それを私が請求書と共に六本木の自衛隊請求窓口に持参します。請求書には到着順番で決済するのです。窓口は順番で上に乗せていくので私は1日も早く決済してもらいたく、順番を早くする為にいつも一番下にもぐり込ませていました。財務課は入金の手早さを評価してくれて、営業課長に鈴木君をご馳走する様にとのこと、ある日、鈴木君すきな料理屋に一緒に行くからどこが良いかとのことでしたので門前仲町、辰巳の一流の料亭、一力へ行き、大盤振る舞いしたことがあります。そうゆうことで、日本全国の自衛隊にも出張しました。隣のビルの株屋に中学の同級生が勤めていて、株を買ったりしていました。昭和39年6月、新潟地震で昭和石油のタンクが爆発し、株がストップ安になり、友達から信用で買うからとのことオッケーして、あくる日ストップ高で上手く売り抜け月給2万円のころ、1,000万円儲け、折半して500万円で行徳の田んぼを仮登記で買いました。

私は結婚して女の子1人で、営業店舗の無い札幌に転勤になり、代理店の募集、スタンド用地やタンクヤード用地の買収等で道内を動き回りました。



毎月1回本社で販売会議があり、東京に出張していました。中学の同級生で木場の材木問屋のT君から浦安のオリエンタルランド社の関連の仕事を会社を退職して手伝ってくれと言われて思いきって札幌で退社しました。その仕事は同社の高橋政知専務とT君の間に鎌形剛さん（東京学館創立者）がいて、彼の裏金造りでした。金銭はT君が調達していました。剛さんが資金をT君の自宅に借りに来る時は私が立ち会い、剛さんは羽織袴で来て、名刺に一〇〇万円借用とサインするだけでした。この一〇〇万円は彼が五〇万円、高橋専務が五〇万円に分配していました。専務は浦安の漁民との飲食に使っていました。剛さんは新宿、富久町に事務所を持ち、社名



は「国立興産」と称していました。その頃私は、早稲田の馬場下町に住んでいたので朝出がけに、剛さんの事務所に立ち寄ってから浦安の不動産屋に行っていました。不動産の宅建主任の資格も昭和51年6月15日付で取得しました。東西線の浦安駅の近くに100坪程度の土地を買い、しゃぶしゃぶ割烹鈴屋を開業（2階100名、1階50名収容）しました。のちに、TDLの建築等で大繁盛しました。その後、不動産業の事務所を浦安でオープンしましたが、営業のノウハウもなく困っていたら新聞のチラシに住通チェーン（現・LIXILメール）というフランチャイズがある事に気がつき、すぐ入会しました。住通チェーンで学び、浦安、行徳で土地を買い、戸建住宅の販売を始め、店舗も行徳・南行徳・東行徳と4店舗になりました。都心にも事務所をと感じ、別会社を日本橋（株）鈴屋インターナショナルを設置し、リクルートの月刊誌、住宅情報に広告をガンガン入れ、空港のある県庁所在地の業者と連携して関東の顧客を送り込み販売しました。毎年秋になると、リクルートの招待で、安比高原に一泊して、翌日安比ゴルフ場でゴルフして帰京していました。



昭和60年代になると浦安の土地値が上がり戸建の採算が合わず、船橋のはずれで戸建を始めました。フロリダ・マイアミ市に子会社、SUZUYA USA 設立。昭和60年頃、リクルートの江副さんを介してマイアミ市から不動産の資格（ブローカー）を持つ日本人が、東京に来ていて、マイアミ市に進出しないかとの事でした。氏名は宮城基弘でした。私は当時、浦安ロータリークラブの会長でした。宮城さんは背広に、ロータリークラブのバッチを付けていたので、良く話を聞き、上智大学を卒業してマイアミに25年在住しているとのことでした。メインバンクの京葉銀行（浜田幸一の弟が頭取）に相談したら応援するとの事。マイアミ市に行ってみたら公私共顔がきいていました。日本からの顧客を社員が同行して案内しました。コンドミニ

Inaugural Ceremony
for One-Hundred-Dollar-by-One-Million Campaign
to focus
constructing "Children's Cherry Parks" for Israeli and Palestinian
with William Jefferson Clinton 42nd President of U.S.A.



鈴木藤雄さん、クリントン元大統領、元巨人川上哲治さん、元巨人荒川博さん

アム、ホテル等が売れました。マイアミに本部があるステーキハウス、ベニバナのロッキー青木さんとも親しくなり、意気投合しました。私も年に3、4回マイアミに行っていました。成田からビジネスシートでダラスまで、乗り換えるとファーストシートになり、成田からマイアミまで17時間半位かかりました。マイアミの部長から日本の姉妹都市を結びたいとの依頼を受け、縁あって鹿児島市を推薦して同市が、マイアミと姉妹都市になり、鹿児島市内にマイアミ通りがあります。今でも1年毎に学生等の交流がある様です。



マイアミ名誉市民の鍵受領の写真

Y・トランプタワーまで来ませんかとの事。当時も有名な男なので宮城社長が1人でNYまで話を聞きに行きました。その後マイアミで、ベニバナの青木さんにトランプの話をしたら、私が会っても利用されるだけなので、関りもたない事だよとのこと。しばらくそのままにしていたら、トランプさんから再三電話があつたらしいです。相当資金繰りに困っていたみたいです。平成元年2月27日に、マイアミから空路、NYに行き、ヒルトンホテルで一泊して翌日の朝、トランプの女性バイスプレジデントとセントラルパークのオフィスビルプラザホテルを見学して、午後、トランプタワーの社長室に行き、彼と会いました。トランプは宮城と会った途端、宮城さんに立ち話で早口に10分位まくしたて、彼も対応してましたが、その後着席し、私が彼の日本語の自伝を差し出すと、につこり笑みがでて、談合になりました。立ち話は通訳もせずです。あとで口論は、何故もっと早く来なかつたんだ。東京の仕事が多忙の為遅くなった。彼の話の内容は、

一、フロリダの別荘を一時(とき)だいてくれ、その時の相場で5年後に買戻しをする。賃料は払う。

二、フロリダのコンドミニアム、売れ残りをそつくり買ってくれ。

私の回答、東京に帰り、銀行と相談して宮城社長から3月10日までに返事をする。と約してスタンバイしました。

ヒルトンにもう一泊して、朝2人で空路、私はハワイホノルル経由で帰京。宮城さんはマイアミに結論として、コンドミニアムは日本からの顧客に販売、SUZUYA・USAはその仲介をすることにして、7、8戸は売りました。マイアミに子会社を造り、宮城さんを社長にしたおかげで、

一、鹿児島と姉妹都市ができました。

二、宮城さんは熊本の八代の出身で、ペルーの藤森大統領も八代の出身なので、彼は年に何回かマイアミに来てました。その度に、当社のロングボディの車を提供していました。私も宮城さんとペルーにも行きました。

マイアミの名誉市民にもなりました。その後バブルで当社は、債務超過になり自宅も競売になり、上手く自己競落して現在マンションにして住んでいます。債務数十億円は、国の債権回収機構が肩代わりしました。材木問屋のT君は、会社、個人共破産です。(負債は一五〇〇億円)



感謝状

鈴木藤雄殿

恒久的世界平和建設の端緒としてのイスラエルパレスチナチルドレンズチェリーパーク建設に關して100ドル100万人キャンペーンに参加された事はノブレスオブリュージュ(高貴なる者の責務)への昇華を図れる方としてそのご理解とご協力に感謝し之を証します

2005年2月26日

常務理事・元内閣総理大臣
米田公雄氏(元・東武東上線)
名誉会長 **羽田 孜**

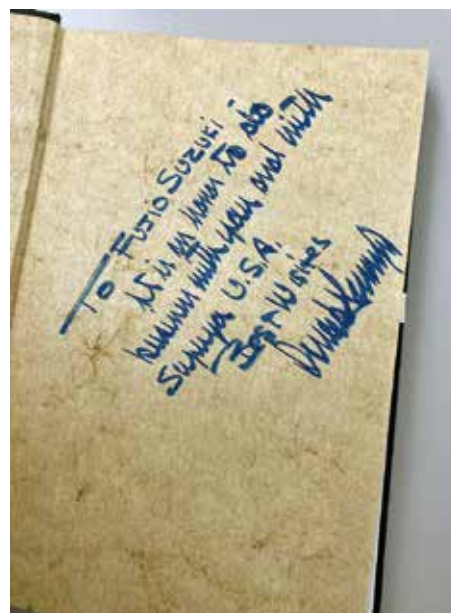
米田公雄氏(元・東武東上線)
米田公雄氏(元・東武東上線)
会長 **久司 道夫**

私の信条

弘法大師、空海を標榜しています。中村天風、哲学を学びました。

私の病気歴

35年位前に、脳腫瘍摘出の為、右耳の三半規管アウト。10年位前に膀胱がんを3年間で3回摘出。ある方法で、7年位再発せずです。



三 商 の 思 い 出

第22期 屋代 英雄

私は小さい頃から地図を見たり描いたりすることが大好きでした。三商に入学すると真っ先に地理部に入部しました。ある時、畳一畳分位の世界地図を描くことになりました。そして地図は講堂の前面の壁に飾られたのです。その地図を見ると在学中の誇らしい気持ちになりました。また朗読の会を有志で立ち上げました。私は与謝野晶子の「君死にたまふことなかれ」を朗読しました。私の兄が満州で亡くなっていますので朗読に力がこもっていたことを思い出します。

ゴルフ三商 30 会

第22期 今村 輝男

昭和30年卒業で、22期です。2002年1月20日に同窓会で場所は船橋グランドホテル（皆川君の所）ゴルフでもやろうかと提案が有り、ゴルフ三商30会が始まり会則まで作り、会長に石川勲君に（主体は7組）なってもらいました。メンバーも最高29名にもなり年4回と決めましたが各自のゴルフ場へ（千葉、栃木、埼玉、茨城）予約が出来ます。月1回開催になりました。

皆川君が幹事になり、彼の船橋グランドホテルで打上げパーティーをやり、多いとき4組以上の時も有り、何年か出来、楽しくやっていました、がコロナ禍によって中止になり残念です。皆川さんの奥さんもゴルフが上手で30会のメンバーとして毎回参加されていました。週に2回も行くような元気なゴルフ好きの方でした。私とニギって（千円）毎回負け



ていました。去年亡くなった有坂君にいつまで営業ゴルフをやっているのだ、と文句を言われました。皆川夫妻には幹事、パーティーとおまかせして樂しませて頂きました。篠崎さんからの電話で三ヶ月前にあの元気でゴルフ好きな奥さんが亡くなったと言われビックリ、信じられませんでした。皆川さんの気持ちと思うと何とも、なぐさめようが有りません。娘さんが一緒に住んでいらつしやるとの事で孤独にはならないだろうから気持ちを強く持つて奥さんが迎えに来るまで、元気に暮らして下さい。又一杯やりましょう。

都立三商 22期卒自営組

第22期 篠崎 清

我が家の事業はペーパー用品の製造卸業を父が営んで居りました。そんな中に居りまして私の素行が悪くて毎日学校で立たされているのが現状でした。そしてやっと中学生となる時点で当時としては比較的学校の厳しい暁星学園が良からうという事になり無理やり入学させられ、本八幡から飯田橋までの通学がスタートしました。本来であれば中、高と6年間で卒業となり大学へと進学するのですが私も暁星中学で3年間学ぶうちに真面目な中学生と成長しておりまして、これからの高校生活を楽しみにしておいた矢先、父が突然体調を崩したので跡取りの私が大学どころでは無くなりました。

卒業後すぐに商売の道に進むとしたら商業高校が良いのではと探しておりました折、同業者の方が勧めて下さったのが都立三商でした。ここで大きな問題が起きてしまいました。当時は都立高校を受験する時点で統一テストがあったのです。しかし暁星の

場合は一切いたしませんので結果は最悪でした。でも父は諦めきれず三商を訪ねたそうです。そのとき対応して下さったのは当時の教頭先生でした清田先生だったそうです。書類をご覧になって三商に入学する点数に達していないので無理ですとはつきりとおっしゃったそうです。如何したものかと悩んでいた



清田教頭先生

た父の元へ翌日三商から電話がありなんと校長先生の今村直人先生でした。大体の様子はわかったが入学希望の本人と面接したいとのことでしたので、後日お伺いして2時間近くお話をしました。その結果点数は不足しているが、諸般の事情を考慮した結果こういう生徒こそわれわれ教職員の力で応援して

いこうとの結論が出たので入学を許可するとのことお言葉を頂きました。

こんな私ですが入学式も終わり三商生としての1年がスタートしたのですが、ソロバンの長谷川先生が受け持ちの先生となったのです。初めてソロバンを受け取ったのは中古品で、使わない球を糸で止め



昭和30年当時教職員全員写真

てありました。そして先生からソロバン塾へ行くように云われ、行ってみると小学生ばかりで1日だけでやめてしまいました。そのことを先生にお知らせしたところソロバン・簿記は商人にとっては大事な資格なので卒業までに最低3級は取得するようにと約束させられました。こんな事情から懸命に練習して1年生の終わりには3級ですがどちらも取得して約束を果たしました。

振り返ってみますと40歳までは商売のみに突き進んできました。それ以後は健康のためゴルフ・ボーリング・アルコールと進んできました。最後になりますがボーリングだけは素人としては自慢できるので公表します。母校三商もあと2年で100周年を迎えますのでこれを目標に頑張ろうと考えております。



編集部注…当時68～69歳！



昭和30年卒業 7組 自営組

800シリーズ達成!!

2005. 5. 27
ニコニコリーグ
篠崎 清 様
800シリーズ (266.6AVG)

1回	10:45-11:15	全場	17	試合	優勝	清	順位	1	イバ1回目の勝利	1回	イバ1回目の勝利
2回	11:30-12:00	全場	17	試合	優勝	清	順位	1	イバ1回目の勝利	2回	イバ1回目の勝利
3回	12:15-12:45	全場	17	試合	優勝	清	順位	1	イバ1回目の勝利	3回	イバ1回目の勝利



3年後 昭和33年 第3回自営組新年会

寄稿・エッセイ

小さなドライブ紀行③
水戸の弘道館・偕楽園

第27期 江角 喜一

年始めより、次はどこにドライブしようかと考えていたが、詩吟に親しむ僕は水戸の弘道館に心定めた。『弘道館に梅花を賞す』（徳川景山）は吟詠家にとっては余りにも有名であるし…。

3月27日（水）快晴のなか、自宅を午前11時過

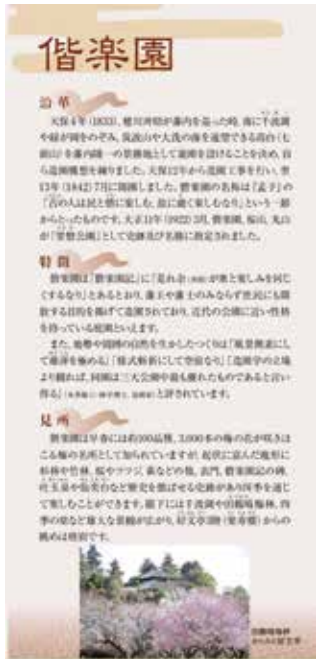
ぎに愛車・KEIを発進させた。“すき家”で朝食を取るや一路茨城に向かった。野田から柏へ走行し常磐道に入り、晴天のなか左斜線をゆっくり進んだ。1時間余で水戸インターを下り、国道50号に転ず。

15年ほど前、産業廃棄物収集運搬の許可申請で茨城県庁に参上したことがあり、県庁横のホテルシラックパルを目指したが、道に迷いぐるぐる堂々めぐりをやって終い、コンビニで人に聞きつつようやくホテルに着く。早めに着いたので、明日の弘道館への道のりを確認しようと水戸市街地を走ってみたが、案の定一方通行に阻まれ再びぐるぐる回る。なんとか弘道館につくも閉館間際のため明日ゆっくり見ることにした。

翌朝食後、午前10時ごろ弘道館につき時間を掛けて見学す。弘道館は水戸の9代藩主徳川斉昭が1841年（天保12年）に建立、当時は文館、武館、後に医館も作られ当時としては最大の藩校でした。今風に言うところ総合大学と言えるでしょう。斉昭公はかなり理想主義者で、30歳で藩主となり天保の大飢饉を経て藩政改革に着手。しかし折しもアジアはアヘン戦争で中国は半植民地化され、1853年（嘉永6年）にはペリーが浦賀に現れる。攘夷派の斉昭は安政の大獄及桜田門外の変で幕府より処罰され、水戸城内永蟄居。

弘道館内をゆっくり見学したが、水戸市役所の管轄となり、縮小されて現在は文館のみ、観光客はまばらで杖者にとっては無理なく散策することができた。帰りに売店に立ち寄ると高齢の女性が店番をしており、絵はがきを購入して、後で詩吟仲間を送って自慢したいと思う。

つぎに少し離れた偕楽園へ向かう。有料駐車場



偕楽園は筑波山温泉で入浴し休憩。その後一般道を走行するも、途中から土浦より高速に乗り柏で下車したが、夜の高速はびゅんびゅん飛ばすので怖かったね。

帰路は筑波山温泉で入浴し休憩。その後一般道を走行するも、途中から土浦より高速に乗り柏で下車したが、夜の高速はびゅんびゅん飛ばすので怖かったね。

神社横が偕楽園の東門入口で、さすがに弘道館より観光客が多かった。好天にめぐまれたので園内を杖をつきつつ歩いた。有名な好文亭内を見学し、coffee コーナーがあったのでぜんざいを注文し食す。出口で「水戸納豆」を土産として買って出す。

弘道館は、徳川将軍が参内した際に、常磐神社と並列の位置にあり、まず神社を参拝。ここは2代藩主光圀公と9代藩主斉昭公が祀られている。直ぐ目についたのは、ここに長州藩の吉田松陰が訪れた記録があったことだ。松陰は江戸遊学と称して佐久間象山等をたずねつつあちこち随分歩いたようである。ここから伊豆下田に向い米国艦船に乗り込もうとしたのかも知れない。



偕楽園は、徳川将軍が参内した際に、常磐神社と並列の位置にあり、まず神社を参拝。ここは2代藩主光圀公と9代藩主斉昭公が祀られている。直ぐ目についたのは、ここに長州藩の吉田松陰が訪れた記録があったことだ。松陰は江戸遊学と称して佐久間象山等をたずねつつあちこち随分歩いたようである。ここから伊豆下田に向い米国艦船に乗り込もうとしたのかも知れない。

偕楽園は、徳川将軍が参内した際に、常磐神社と並列の位置にあり、まず神社を参拝。ここは2代藩主光圀公と9代藩主斉昭公が祀られている。直ぐ目についたのは、ここに長州藩の吉田松陰が訪れた記録があったことだ。松陰は江戸遊学と称して佐久間象山等をたずねつつあちこち随分歩いたようである。ここから伊豆下田に向い米国艦船に乗り込もうとしたのかも知れない。

偕楽園は、徳川将軍が参内した際に、常磐神社と並列の位置にあり、まず神社を参拝。ここは2代藩主光圀公と9代藩主斉昭公が祀られている。直ぐ目についたのは、ここに長州藩の吉田松陰が訪れた記録があったことだ。松陰は江戸遊学と称して佐久間象山等をたずねつつあちこち随分歩いたようである。ここから伊豆下田に向い米国艦船に乗り込もうとしたのかも知れない。

偕楽園は、徳川将軍が参内した際に、常磐神社と並列の位置にあり、まず神社を参拝。ここは2代藩主光圀公と9代藩主斉昭公が祀られている。直ぐ目についたのは、ここに長州藩の吉田松陰が訪れた記録があったことだ。松陰は江戸遊学と称して佐久間象山等をたずねつつあちこち随分歩いたようである。ここから伊豆下田に向い米国艦船に乗り込もうとしたのかも知れない。

偕楽園は、徳川将軍が参内した際に、常磐神社と並列の位置にあり、まず神社を参拝。ここは2代藩主光圀公と9代藩主斉昭公が祀られている。直ぐ目についたのは、ここに長州藩の吉田松陰が訪れた記録があったことだ。松陰は江戸遊学と称して佐久間象山等をたずねつつあちこち随分歩いたようである。ここから伊豆下田に向い米国艦船に乗り込もうとしたのかも知れない。

偕楽園は、徳川将軍が参内した際に、常磐神社と並列の位置にあり、まず神社を参拝。ここは2代藩主光圀公と9代藩主斉昭公が祀られている。直ぐ目についたのは、ここに長州藩の吉田松陰が訪れた記録があったことだ。松陰は江戸遊学と称して佐久間象山等をたずねつつあちこち随分歩いたようである。ここから伊豆下田に向い米国艦船に乗り込もうとしたのかも知れない。

偕楽園は、徳川将軍が参内した際に、常磐神社と並列の位置にあり、まず神社を参拝。ここは2代藩主光圀公と9代藩主斉昭公が祀られている。直ぐ目についたのは、ここに長州藩の吉田松陰が訪れた記録があったことだ。松陰は江戸遊学と称して佐久間象山等をたずねつつあちこち随分歩いたようである。ここから伊豆下田に向い米国艦船に乗り込もうとしたのかも知れない。

偕楽園は、徳川将軍が参内した際に、常磐神社と並列の位置にあり、まず神社を参拝。ここは2代藩主光圀公と9代藩主斉昭公が祀られている。直ぐ目についたのは、ここに長州藩の吉田松陰が訪れた記録があったことだ。松陰は江戸遊学と称して佐久間象山等をたずねつつあちこち随分歩いたようである。ここから伊豆下田に向い米国艦船に乗り込もうとしたのかも知れない。



我が街 船橋を歩く

第29期 仲田 元昭

人生百年時代、小生は老後の健康維持と生き甲斐にと思い、船橋市市民大学校マイスター学科で街歩きガイドのノウハウを学び、平成二十八年四月七十一歳で船橋市観光協会認証の街歩きガイドになりました。

これまで二十名程の市民の皆様さんや三商同窓生、会社OB会仲間等を東京と船橋併せて三十五コース・百回程ご案内し、お客様との新たな出会いと街歩き後の懇親会での交流等を楽しんできました。

令和七年四月十七日には同窓生の更なる交流・親睦にお役に立てればと、同窓生を対象にした江戸(上野)の街歩きを企画・実施し、参加者は少なかつたが先輩・後輩との楽しい交流を果たすことも出来ました。

五年前に同窓会のホームページを拝見しましたら、毎月のメールマガジンへの投稿者が少なく、船橋の魅力ご紹介でも宜しいでしょうかと事務局に相談しましたら、是非投稿して欲しいとのこと。令和三年二月から五年目五十四号の寄稿を継続しております。

今回、より多くの同窓生が拝読している同窓会報に、令和三年二月から令和四年三月までの十四号の中から選りすぐり、名所旧跡二ヶ所をご案内致します。



一、船橋大神宮(意富比神社) 式内社・旧縣社

船橋は、徳川将軍家とゆかりのある街で、徳川家康公が千葉県で宿泊した最後の場所である船橋御殿跡(市文化財史跡)があります。また家康公は、四百二十年程前に船橋大神宮を造営替えしたと言われ、社領五十石を寄進しております。

創建は、今から千九百年程前と伝えられ、史書「延喜式」の神名帳(延長五年 九百二十七年)に意富比神社の名がある船橋市を代表する神社です。

いつの頃からか「船橋大神宮」と呼ぶようになりました。主祭神は伊勢神宮と同じ天照皇大神で、南の鳥居の右に「延喜式内社意富比神社」の大きな石

「船橋大神宮・神明造り四つ足門」

碑があり、平安時代に官社として認定されていた由緒ある神社です。

天正十九年（千五百九十二）徳川家康より「常磐の箱」に開運の旗と弓を本殿に納められたと言われ、江戸開府の頃より家康公は度々参詣され、五十石の社領の寄進が十四代將軍家茂まで続きました。

慶応四年（千八百六十八）閏四月三日、江戸城無血開城後の最初の戦い、戊辰戦争・市川船橋戦争（上



「船橋大神宮・神明造り拝殿、本殿は更に奥にあり」

野戦争の一ヶ月前）では、旧幕府軍の本陣が置かれ、新政府軍（宮崎 砂土原藩）との戦いで徳川家康が造営したと言われる社殿と神社周辺は戦火にあい焼失しました。現在の社殿は、明治になり造営された建造物です。

二、常磐神社

今から四百年程前、元和八年（千六百二十二）に二代將軍秀忠公が、家康公を祀る常磐神社を造営しました。その当時の本殿は五間（約10m）四方と大きく、上野東照宮と並ぶ彫刻美の素晴らしい社殿でした。

八代將軍吉宗公の時代に、常磐神社は、日光、久能山、江戸城内紅葉山、上野東照宮と並ぶ幕府が定めた七大東照宮の一つになりました。

しかし、船橋大神宮同様に、慶応四年（千八百六十八）四月江戸城無血開城後の最初の戦い、戊辰戦争・市川船橋戦争で戦火にあい焼失して



「常磐神社・本殿、極彩色総漆塗り」

しまいました。

現在の常磐神社は、平成二十七年に「徳川家康公没」四百年の顕彰事業として、創建当時の日光東照宮にも並び称された壮麗な社殿を再現すべく、新社殿が造営されました。平成の大造営とも言えます。

本殿の間口三間、奥行二間、高さ二十五尺、彩色漆塗り仕上げで、本殿最上部の千木には菊唐草の文様が彫られています。

唐門の上には、中央に天皇家の「菊」の御紋とその周りに徳川家の「葵」の御紋とを彫りつけてあり、非常に珍しい事です。

本殿中央には、日本武尊が、左側には家康公と徳川四将（井伊、本多、酒井、榊原）が、更に右側に



「常磐神社 唐門、菊の御紋と葵の御紋」

メールアドレス
info@tcsaa.jp



上記 QR コードから
「メール作成画面はこちら」
にお進みください。

- 1・開催日…令和7年10月16日（木曜日）
- 2・集合時間・場所…午前10時 JR東船橋駅
改札前
- 3・昼食懇親会…費用実費精算（予算3,000円）
- 4・徒歩約4Km・2時間…ゆつくりと船橋東部の
宮本台にある神社仏閣を船橋市観光協会認証の
街歩きガイド29期仲田がご案内致します。
- 5・申込先…三商同窓会事務局

☎ …03（3643）3392
FAX…03（3643）3396

以上

は秀忠公に加え歴代の將軍家が祀られています。

平成二十八年度（第二十三回）、優れた建築物に贈られる「千葉県建築文化賞」優秀賞を受賞しました。

本殿は、正月三が日のみ一般公開され、見事な漆塗りの神社彫刻美をガイド人が案内しております。小生も正月奉納ガイドを担当しておりますので、遠慮なくご一報賜れば喜んでご案内させて頂きます。

「お知らせ…三商同窓生街歩き開催」

同窓生の健康維持と交流の輪が広がる一助になればと思い、春4月実施の「同窓生街歩き」を引き続き秋にも開催致します。

三商生の親睦を深めませんか、多くの同窓生の皆さまのご参加をお待ちしております。

第3回 三希展 開催報告

第26期 水上 健二

都立第三商業高等学校の創立九十周年を記念して何か企画を考えては、と26期同期会の会長古田勝一氏が発起人となり26期の2名と28期の1名の3名で2018年3月7日～14日の会期で三希展という展覧会をスタート、26期と28期の同窓生を中心に多くの来客がご来場いただき大変有意義な展覧会となりました。

その後、第2回展を計画しましたが、コロナ禍の長期化に伴い延期となり、やっと5年後の2023年6月27日～7月2日の会期で第2回展が実現しました。

した。

26期の豊田紀雄氏と私、28期の北島朝子さんの三人展、今回で第3回となりますが、2025年7月2日～6日まで神楽坂セッションハウスで開催しております。

今回でこの展覧会も最終回となり、連日多くの同窓生や多くの来客で賑わっております。

26期、27期の同窓生も加わりオープニングパーティーも盛り上がり、賑やかに開幕しました。

会期中、連日の猛暑が続きましたが、大勢の皆様がご来場いただき熱心に作品を鑑賞いただき充実した五日間を楽しみました。

今回の三希展の企画・発起人である26期同期会会長の古田氏の全面的なバックアップのお蔭で充実した



三希展をここまで続けて開催できたこと出品者一同感謝しております。

今回の展覧会でも過去二回の資料も作成いただき、また出品者に記念の盾を作成いただき会場に飾りました。

今回で三希展も最後になりましたが、それぞれの会でいろいろな出会いがあり母校三商の偉大さを改めて認識し誇りを持ちました。この経験は今後にも生かして各自研鑽に励みます。

この会の活動を色々な面で支えて下さった古田会長に会員一同深く感謝致します。

第26期 豊田紀雄氏 作品

個性的なユーモアのある豊田氏の作品



毎回人気のある人物のいろいろな顔が面白い





第28期 北島朝子氏作品
力強いタッチのアクリル画 北島さんの作品





画面が鮮やかな色の対比で構成され赤が画面を引き締め来場者に強い印象を与えている





第26期水上健二氏作品



100号の油彩画を中心に海外と国内の水彩スケッチを



海外と国内の油彩と水彩による風景画像を



会場の様子





同期会活動報告

今年も再会
三十期同期会「三八会」

第30期 藤倉 久男



令和7年4月24日(木)台東区上野にある「吉池食堂」にて三八会を開催した。今回は卒業生448名の内連絡がつく147名に案内状を発送、出席44名、欠席76名、返信なし27名だった。今回の出席は44名で、8組の自営クラスを除いて1組から9組まで顔が揃った。

開宴に先立ち今年も7人の同期が残念乍ら鬼籍に入られた。全員で黙とうを捧げた。開会の挨拶は落合清秀生徒会長。「昨年も今日と同じ日に同期会が行われ、あつという間の一年です。また元氣にお会いでき、こんなに嬉しいことはありません。今年は昭和100年の節目の年です。卒業して62年、私達も80歳の大会を超えました。今日一日旧交を暖めましょう」と乾杯で始まった。

宴会が始まれば、あちらこちらで笑い声がおこり、楽しい時間はあつという間に過ぎます。吉池食堂は鳴物ができませんので残念です。今回案内状を受け取った奥様から電話があり、「主人は亡くなりましてが、同期会の写真をお送りいただければ仏壇に飾りたい」後日お送りしました。また、出席者の一人から後日電話があり、「中学のクラス会で同じ三商卒の2人から三八会の案内状が届いていない」早速調べたら名簿の住所欄が空欄だった。来年からは発送すると約束した。

やはり「継続は力なり」で元氣なうちはまた開催したいと思っている。今日の皆さんをみていると80歳には見えない。2時間を超えた宴会のあとは吉池食堂で場所を変えて呑み直し、家路に急いだ。まだまだ元氣だ。

第31期 3年2組
クラス会報告

第31期 西邨 昭一

去る6月19日に、昨年に引き続き第31期3年2組のクラス会を門前仲町の「東天紅深川店」にて開催いたしました。

当日は、梅雨入りが宣告されたにも関わらず梅雨

中休みの気温33度の猛暑の中、総勢12名(男性9名、女性3名)の方々が参集しました。因みに、女性参加者2名は他のクラスの方々です。(笑)

会は川井清司幹事の開会挨拶、同窓会長の三浦康二さんの乾杯の音頭でスタートし、暫し歓談の後、三浦さんから母校三商の現状報告、又再来年に予定されている母校の創立100周年記念行事等の案内がなされました。

更に、得意の「小噺」で高齢者福祉施設での慰問ボランティア活動をしている太田弘さん(旧姓小林さん)による「小噺」が披露され、笑タイムで和やかな時間を過ごした後、来年も開催することし、皆元氣で再開できることを約束して、2時間のクラス会を終了しました。



今回も幹事をされた川井清司さん、馬場嘉夫さんの労に感謝いたします。

追伸）当クラス会では、他のクラスの卒業生の方の参加も歓迎です。

また、暫く開催していませんでした「同期会」の開催も検討されていますので、開催の折には、同期生の方々の多数の参加をお願い致します。

《同期会の御案内》

昭和39年3月卒業 31期生の同期会

日時 令和7年11月27日（木）12：00より開催

会場 上野「東天紅」

会費 8,000円

問い合わせ先

真下 章 TEL 090・4421・3588

31期生の皆様の多数参加をお待ちしております。

第26期同期会を楽しんで

第26期 水上 健二

同期会も今回で34回目となりました。昭和35年（1960）に第1回目を開いた後、21年後に第2回を昭和56年（1981）に開き、以後2年ごとに開催、最近は毎年開催し、コロナで2年間中断したもの、今回も43名が元気に顔を会わせました。

恒例の上野東天紅での同期会で続々と懐かしい顔ぶれが集まり笑顔が広がった。

司会は七組の志田友春氏が担当し、まず物故者の冥福を祈り全員で黙祷、共同幹事である六組の牧野英昭氏の開会の挨拶で同期会が始まりました。嘗て生徒会長を務めた同期会会長の五組古田勝一氏が会長挨拶をし、会長の力強い挨拶にお互いの再会を喜び合いました。



乾杯は六組の豊田紀雄氏の発声で宴が一気に盛り上がり、お互いの近況報告やテーブルを歩き交い話が飛び交い元気に今回も参加できた喜びを分かち合いました。

皆んな学生時代に戻ったかのように生き生きと話題が弾み、楽しい時間をじっくりと過ごしました。お酒も和気藹々とよく進み、東天紅の担当者もびっくり！

宴も進み、遠路札幌から駆けつけた七組の清田実氏が「同期会65年の歩み」をスライドショーにまとめ、全員暫し懐かしい映像の数々に魅了されました。

恒例の校歌・応援歌斉唱も全員大きな声で青春時



代を謳歌するように爽やかな笑顔で歌っているのが印象的でした。

次回当番幹事への引き継ぎが行われ、今回一番出席者の多い八組に決まり、力強い引き継ぎの宣誓があり、また来年も元気に集まろうと再会を約しました。

記念写真を撮影し、同期会を終わりましたが、別の階に移り、有志による二次会も話が弾み同期会の余韻を楽しんでいました。

出席者全員の写真を掲載し同期会の報告といたします。





次号のお知らせ

近年の同窓会報では、毎年卒業70年を迎えた先輩方に原稿をお願いし、特集を組んでまいりました。多くの皆様から、驚き、ためになるお話を頂戴し誠にありがとうございます。

しかし、卒寿を迎えるご年齢も考慮し、少しずつ特集を組む年代を前倒ししていきたいと考えております。

そこで来年の64号では、**第23期・第24期・第25期の三世代にわたる方々の特集**を組みたいと考えております。

題材は問いませんので、広く皆様のお話を伺いたくお願い申し上げます。

原稿は手書き、パソコンによるテキスト文章など形は問いません。左記の奥付にある三商同窓会事務局あてに、郵送、メール、FAXなどでお送りください。ご不明点は同窓会事務局までお電話でお問い合わせください。

メールは info@tcsaa.jp となります。ホームページからも送付可能です。

写真などもございましたら、ぜひお送りください。画像データも歓迎です。

お預かりした写真、資料等は、編集後ご返送いたします。

原稿の締め切りは、令和8年6月末日となります。

三商同窓会報第六十三号

令和7年8月1日発行

発行者

都立第三商業高等学校同窓会

発行責任者

都立第三商業高等学校同窓会 広報委員会

編集者

〒135-0046

東京都江東区牡丹1の12の8 三商会館4階

都立第三商業高等学校同窓会事務局

杉本 光男

電話 03(3643) 3392

ファクシミリ 03(3643) 3396

印刷所

オフィス岩瀬

第1号議案

活 動 記 録 (6年度)

No. 1

日付	曜日	摘 要	備考
6/4	9 火	入学式	
4	16 火	会計監査	三商会館
4	20 土	理事会	三商会館
		1 令和5年度 事業報告、会計報告の承認の件	
		2 令和6年度 事業計画、予算案承認の件	
		3 新年会の報告	
		4 「三商同窓会報」62号発行について	
		5 第32回「東京校歌祭」について	
		6 「同窓生の集い」について	
		7 ホームページについて	
		8 公益財団東京三商会の現況報告	
		9 その他	
5	25 土	定時評議委員会	三商 大会議室
		1 令和5年度 事業報告承認の件	
		2 令和5年度会計報告及び監査報告承認の件	
		3 令和6年度事業計画案承認の件	
		4 令和6年度予算案承認の件	
6	1 土	東京校歌祭実行委員会	小山台会館
6	7 金	三商学校運営連絡協議会	三商大会議室
8	1 木	「三商同窓会報」62号発行	
8	25 日	東京校歌祭実行委員会	小山台会館
10	12 土	同窓生の集い	東天紅 深川店
10	27 日	第32回 東京校歌祭	杉並公会堂
11	29 金	三商学校運営連絡協議会	三商大会議室
11	30 木	三商学校運営連絡協議会	三商大会議室
7/2	8 土	新年会	東天紅 深川店
3	8 土	卒業式	

第2号議案

令和6年度 会 計 報 告

自 令和 6年 4月 1日
至 令和 7年 3月31日現在 (単位 円)

項 目	予 算 額 (A)	執 行 額 (B)	差額(B-A)/(A-B)	備 考
前年度繰越	5,520,091	5,520,091	0	
(収入の部)				
会費(92期)	1,400,000	1,389,120	-10,880	卒業生 139名
運営協賛金	20,000	0	-20,000	
事業収入	525,000	307,000	-218,000	
利息他	60	1,595	1,535	
収入合計	1,945,060	1,697,715	-247,345	
〔支出の部〕				
理事・評議員会	100,000	73,570	26,430	
総会(同窓生の集い)	100,000	328,994	-228,994	
新年会	350,000	270,000	80,000	@7,500- 36名
校歌祭	260,000	280,980	-20,980	
同窓会報	600,000	690,184	-90,184	
ホームページ	100,000	99,000	1,000	
活性化活動費	50,000	0	50,000	
母校部活支援	200,000	198,563	1,437	
就職活動支援	150,000	149,084	916	
母校支援	200,000	273,196	-73,196	懸垂幕の作成他
会合費	20,000	0	20,000	
慶弔費	30,000	0	30,000	
通信費	300,000	324,180	-24,180	
事務・消耗品費	25,000	0	25,000	
雑費	10,000	0	10,000	
東京三商会	300,000	300,000	0	
特別会計予算	200,000	200,000	0	
支出合計	2,995,000	3,187,751	-192,751	
次年度繰越	4,470,151	4,030,055	-440,096	
(事業収入内訳)				
1 新年会会費	135,000	136,000		
2 「三商同窓会報」広告収入	280,000	138,000		
3 同窓生の集い会費	0	0		
4 校歌祭反省会会費	90,000	33,000		
5 その他雑務収入	20,000	0		
合 計	525,000	307,000		

特別会計(周年記念事業)

上記のとおりご報告申し上げます。
令和 7年 4月 16日

前年度繰越 1,804,015

会 計 渡 邊 秀 明

一般会計(92期) 200,000
受取利息 251
収入合計 200,251

監査の結果正確である事を認めます。
令和 7年 4月16日

差引次年度繰越 2,004,266

監 事 古 田 勝 一

監 事 三 川 廣 志

第3号議案

令和7年度 事業計画案

- 新型コロナウイルスが治まり平常に戻ったので、同窓会の活動も平常に戻す。
- 母校支援については例年通りとする。

1 定時評議員会

令和7年5月24日(土) 三商大会議室

2 「三商同窓会報」63号の発刊

投稿締切 令和7年5月末日(厳守) 発行 令和7年7月1日予定
今回も広告をたくさん募集する

3 第33回東京校歌祭への参加

日時 令和7年10月26(日)
会場 杉並公会堂

4 新年会

日時 令和8年2月7日(土) 午後4時より
場所 「東天紅」深川店

5 活性化活動

同期会開催のコーディネートに重点を置く

6 支援活動

母校支援(部活動支援、就職活動支援、その他)

7 「公益財団法人 東京三商会」については逐次報告する。

8 その他

第4号議案

令和7年度 収 支 予 算 (案)

自 令和7年4月 1日
至 令和8年3月31日 (単位 円)

項 目	6年度予算額	6年度執行額	項 目	7年度予算額	備 考
前年度繰越	5,520,091	5,520,091	前年度繰越	4,030,055	
(収入の部)			(収入の部)		
会費(92期)	1,400,000	1,389,120	会費(93期)	1,400,000	140名
運営協賛金	20,000	0	運営協賛金	20,000	
事業収入	525,000	307,000	事業収入	470,000	
利息他	60	1,595	利息他	60	
収入合計	1,945,060	1,697,715	収入合計	1,890,060	
(支出の部)			(支出の部)		
理事・評議員会	100,000	73,570	理事・評議員会	100,000	
総会(同窓生の集い)	100,000	328,994	総会(同窓生の集い)	0	
新年会	350,000	270,000	新年会	375,000	@7,500- 50名
校歌祭	260,000	280,980	校歌祭	240,000	*
同窓会報	600,000	690,184	同窓会報	600,000	
ホームページ	100,000	99,000	ホームページ	100,000	
活性化活動費	50,000	0	活性化活動費	50,000	
母校部活支援	200,000	198,563	母校部活支援	200,000	
就職活動支援	150,000	149,084	就職活動支援	150,000	
母校支援	200,000	273,196	母校支援	200,000	
会合費	20,000	0	会合費	20,000	
慶弔費	30,000	0	慶弔費	30,000	
通信費	300,000	324,180	通信費	300,000	
事務・消耗品費	25,000	0	事務・消耗品費	25,000	
雑費	10,000	0	雑費	10,000	
東京三商会	300,000	300,000	東京三商会	10,000	
特別会計予算	200,000	200,000	特別会計予算	200,000	
支出合計	2,995,000	3,187,751	支出合計	2,610,000	
次年度繰越	4,470,151	4,030,055	次年度繰越	3,310,115	

(校歌祭予算)
参加費・広告費
交通費OB、現役他
反省会費用20名*5000
計

60,000
80,000
100,000
240,000

(事業収入明細)

① 新年会会費 ￥4,000- 40名 160,000
② 三商同窓会報広告収入 200,000
③ 同窓生の集い会費 0
④ 校歌祭反省会会費 ￥3,000- 30名 90,000
⑤ その他雑務収入 20,000
合 計 470,000

令和6年度特別会計(周年記念事業)		令和7年度特別会計(周年記念事業) (案)	
前年度繰越	1,804,015	前年度繰越	2,004,266
一般会計(92期会費)	200,000	一般会計(93期会費)	200,000
受取利息	251	受取利息	200
収入合計	200,251	収入合計	200,200
支出合計	0	支出合計	0
差引次年度繰越	2,004,266	差引次年度繰越	2,204,466

(第21期) 平林 慶雄

有限会社 平林油店

灯油・軽油・潤滑油・配達いたします
油の事ならご相談ください。

本店・自宅 (03)3644-4487
江東区南砂4-19-13

南 砂 S S (03)3644-6161
江東区南砂3-4-5

S 190 mm × 260 mm
全頁 (表 4) 50,000 円
A 190 mm × 260 mm
全頁 30,000 円
B 1275 mm × 190 mm
1/2 頁 15,000 円
C 925 mm × 1275 mm
1/4 頁 10,000 円
D 615 mm × 925 mm
1/8 頁 5,000 円
E 442 mm × 615 mm
1/16 頁 3,000 円

当会報は、毎年の同窓会予算に加え、皆様からの広告収入が送費及び印刷製本費の一部として運用されております。
営利目的ではありませんので、長く料金を据え置き左記の価格で皆様にお願ひしております。
広告原稿に付きましては、当方で作成も可能です。(原稿作成費は無料)
詳しくは同窓会事務局までお問い合わせください。

28 期 大野眞言著書

昭和 平成
そして
令和は

歴史は廻る(八道輪廻)

未来を変えよう
変えられる

大野 眞言 著

未来を拓く思考整理法
五つの窓 (上巻)

とうか書房

発行元 權歌書房
〒811-1362
福岡県福岡市南区
長住 4 丁目 9-1
TEL092-511-8111

著 者 大野眞言
〒811-3221
福岡県福津市
若木台 5-17-1
TEL0940-43-1743

SDGsを
分析する

大野 眞言 著

未来を拓く思考整理法
五つの窓 (下巻)

とうか書房



細田木材工業株式会社

顧問
細田安治 (19期)



合法木材供給
事業者認定
[輸入協-037]



〒136-0082
東京都江東区新木場 2-5-3
☎03-3521-8701
fax03-3521-8708
e-mail: yasuji@woody-art-hosoda.co.jp
http://www.woody-art-hosoda.co.jp/

おしゃれエプロンメーカー

有限会社 篠 崎

取締役会長 篠崎 清 (第22期)

〒272-0021 市川市八幡4-17-33

TEL047-334-5027 Fax047-334-5432

表 具 処



創業天保年間

經 新 堂 稻 崎

五代目店主 稲崎 棟史 (第22期)

〒103-0007 東京都中央区日本橋浜町2丁目48番7号
TEL: 03-3666-6494
FAX: 03-3666-6989
http://www.kyoushindo.com
E-mail: info@kyoushindo.com

Sugimotokouji

株式会社 杉本好二商店

代表取締役 杉 本 眞 一

〒130-0002 東京都墨田区業平1-17-5
TEL 03-3623-2185
FAX 03-3623-1859

砂 利 ・ 砂 ・ セ メ ン ト ・ 砕 石
生コンクリート・アスファルト 販売店

文京区湯島3-8-1
03(3833)4529
※社会情勢により変更あり

SAIKOU
ますだ

かつ進

とんかつ★串揚げ

神田鎌倉橋店 03-3256-2984
外神田店 03-3833-2981

26期 増田進一郎
31期 増田トシ子

リサイクルショップ

てるてるぼうず

代表

大石傑一郎

(23期珠算部々長)

曳舟本店 〒131-0032
東京都墨田区東向島 2-14-1
メゾンド大石1階
☎ 03 (3616) 2439 (代) FAX 03 (3861) 0067
自 宅 〒111-0051
東京都台東区蔵前 4-28-5
蔵前大石ビル4階
☎ 03 (3861) 0084 FAX 03 (3861) 0067

番号印刷専門 昭和13年1月1日開業

スドウナンバー

31期 須藤 義勝

〒104-0043 東京都中央区湊 2-3-3
Tel.03-3551-9078 Fax.03-3553-8486

街と住まいと
お客さまをつなぐ

不動産のことならご相談ください
住宅・事業用など
トータルサポート致します

【当社開発事例 イメージパース】
新築分譲住宅 全2棟
大雄開発『クリエーションシリーズ』



(公社)東京都宅地建物取引業協会会員 東京都知事免許(14)第26577号

大雄開発株式会社

代表取締役会長 松岡雄治(第26期)

〒136-0072 東京都江東区大島1-29-6 アプローチ西大島101

TEL:5628-1511 FAX:3636-2292



物件情報満載HP

売買情報 <http://www.daiyukk.co.jp> 賃貸情報 <http://www.daiyukk.com>

『新着物件情報』・『オープンハウス情報』など掲載中です!!

関西風お好み焼き

どんどん亭

33期 坂口保夫



森下交差点角 すき屋並び
定休日月曜日 営業時間 17時～23時

電話 **03-3635-4823**

江東区森下2-18-1

割箸・テーブルウェアで115年



株式会社

赤田本店

AKADA COMPANY, LTD.

代表取締役 赤田安司
(第34期)

住所 〒130-0004 東京都墨田区本所3-23-10

電話 03-3625-4184 FAX 03-3625-9399

メール akada-honten@mx5.ttcn.ne.jp

有限会社 **みのる不動産**

都知事(14)21090号

公益社団法人東京都宅地建物取引業協会会員

代表取締役 **三川 廣志**

(第34期)

■亀戸店 東京都江東区亀戸7丁目11番12号 京葉道路面
TEL (3684) 5851(代) FAX (3684) 5850
E-mail: mk@e-minoru.com

■本店 東京都江東区北砂7丁目4番3号 環状四号面
TEL (3644) 7573(代) FAX (3640) 2543

中 華・洋 食

南光軒

三商会館近く

江東区牡丹1-12-12 (35期 谷 泰一)

☎ **03 (3641) 7668**



柏 俊太郎 (第35期)

〒136-0071
東京都江東区亀戸6-23-10
カーサカッシーノ1F
TEL 03-3682-0033

〒130-0011
東京都墨田区石原3-30-9
TEL 03-3621-5592
FAX 03-3621-5592
E-mail: unagiya1948@outlook.com

高木 利夫

(第三十三期)
元史学部

川 勇

うなぎ

創業明治四〇年
下町の味を伝えて一世紀

三商同窓会 総務委員

22期 篠崎 清	26期 岩瀬 和子
26期 古田 勝一	28期 吉沢 靖子
28期 若月 健司	29期 土方 敏之
30期 藤倉 久男	34期 三川 廣志
48期 渡邊 秀明	49期 星名 恵子
55期 初山 優	60期 木藤 則行

円滑な同窓会運営のためのお手伝いをしています

総合印刷プランナー

Print&Bind's Solution

Office **iwase**

印刷の事なら何でもご相談ください
企画・デザイン⇒印刷・製本⇒納品・発送代行

オフィス岩瀬

第49期 岩瀬 茂幸

TEL/FAX: 03 (3877) 9520

E-mail: s_iwase@kvf.biglobe.ne.jp

夢をかたちに・・・



中外徽章株式会社

〒101-0052 東京都千代田区神田小川町3-2

TEL:03-3294-3431 FAX:03-3294-3436

<http://www.chugaikisyo.co.jp>

相談役 古田 勝一 (第26期)

傘寿から米寿へ

さん

じゅ

べい

じゅ

祝

希望は燃ゆる若き、われら...

昭和34年(1959年)なつかしの時計塔が
聳える校舎を472名で卒業した26期生(生存者340名程)は
令和2年~3年に80才の傘寿を迎え、これより先は88才の
米寿へとチャレンジして参ります。

「生涯青春で有り続けたい」との願いから、第26期は
毎年同期会を開催しております。

第26期 同期会会長 古田 勝一